

大室山 小室山

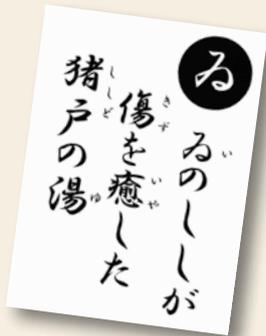
市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



猪戸の湯

伊東の源泉のうちの猪戸の湯は江戸時代後期、野原の中の湯に猪が浸っているのを見て、温泉場となりました。今は元温泉のあったあたりに元湯権現という小さなお社が祀られています。

〜伊東かるた解説書より〜

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 9月定例会の概要 【 P. 2 】
- 決算大綱質疑 【 P. 4 】
- 一般質問 【 P. 8 】
- 常任委員会だより 【 P. 11 】
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 【 P. 11 】



令和3年9月定例会

令和2年度一般会計・特別会計・企業会計決算を含む 38件の議案等を審議、決定

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第5号	令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）及び公営企業会計の資金不足比率の報告	市長	（報告・質疑のみ）
市報第6号	令和2年度伊東市病院事業会計継続費精算報告について	令和2年度で旧市民病院施設の解体工事が終了したことから、地方公営企業法の規定による継続費の精算についての報告	市長	（報告・質疑のみ）
市報第7号	令和2年度決算に基づく健全化判断比率の修正について	市報第5号で報告した健全化判断比率について、国の基金に関する算定上の取扱いが統一化されたことを受け再算定したことに伴う修正報告	市長	（報告・質疑のみ）
市議第10号 P63 討論	伊東市個人情報保護条例及び伊東市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の公布に伴う改正	市長	全会一致で可決
市議第11号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した（感染が疑われる場合を含む。）国民健康保険加入の被用者に対して支給する傷病手当金について、国の財政支援期間に合わせて適用期間を延長するもの	市長	全会一致で可決
市議第12号	伊東市民運動場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	伊東市民運動場の人工芝生花事業に伴い、新たに市民運動場の使用料その他必要な事項を定めるための改正	市長	全会一致で可決
市議第13号	令和2年度伊東市病院事業会計資本金の額の減少について	令和2年度伊東市病院事業会計資本金32億3,452万653円のうち、旧市民病院施設の解体による除却分1億7,436万3,620円を減少し、欠損金に振り替えることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第14号	令和2年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和2年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金2億3,518万2,470円のうち、1億3,661万3,158円を減債積立金へ積み立て、9,856万312円を資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第15号 P63 討論	令和3年度伊東市一般会計補正予算（第3号）	参議院議員補欠選挙の執行経費をはじめとする各種事業経費の追加、生活保護費等における令和2年度事業費確定に伴う国県支出金返還金等の追加、及び、財政調整基金への積立てなど、7億773万6,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第16号	令和3年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第1号）	選手賞金や手当の増額に伴う経費の増額や、一般会計への繰出し、競輪事業基金等への積立金の増額のほか、地方公共団体金融機構納付金を追加するもの	市長	全会一致で可決
市議第17号	令和3年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	確定した国民健康保険事業納付金について整理をするとともに、令和2年度分の交付金の精算に伴う県支出金返還金の減額などを計上するもの	市長	全会一致で可決
市議第18号	令和3年度伊東市下水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収入では、国庫補助事業不採択による長期前受金戻入の減額、支出では減価償却費の増額及び資産減耗費の減額を計上し、資本的収入では、企業債、国庫補助金の減額、支出では、公共の管渠及びポンプ場建設費の増額、公共の管渠及びポンプ場改良費等の減額を計上するもの	市長	全会一致で可決
市議第19号	伊東市市民栄誉賞条例	文化・芸術・スポーツその他の分野において、国際的な大会等で顕著な成績を収めた方の栄誉をたたえるため	市長	全会一致で可決
市議第20号	令和3年度伊東市一般会計補正予算（第4号）	歳入においては、財政調整基金からの繰入れを行い、歳出では、新型コロナウイルス感染症拡大により、売上げが大幅に減少している事業者に対する、新型コロナウイルス感染症対策中小企業等応援給付金として1億円の追加	市長	全会一致で可決
市認第5号～ 市認第14号 P63 討論	令和2年度伊東市一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算6件、企業会計決算3件	地方自治法第96条第1項第3号に基づく各会計の令和2年度歳入歳出決算の認定	市長	3ページの表をご覧ください
市選第1号	教育委員会委員任命の同意について	遠山泰範氏（新井）新任	市長	全会一致で任命に同意
市選第2号	公平委員会委員選任の同意について	佐藤直道氏（富戸）再任	市長	全会一致で選任に同意
市諮第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	堀川珠代氏（宇佐美）再任	市長	全会一致で推薦に同意

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
発議第3号 【討論】	内部統制整備に関する調査研究特別委員会設置について	内部統制制度の整備についての検証・調査・研究を目的とした特別委員会の設置	議員 7名 ^{*1}	賛成少数で否決
発議第4号	新型コロナワクチン接種の安全性確保と生活再建のための個人給付等を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、内閣府特命担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名 ^{*2}	全会一致で可決
発議第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名 ^{*2}	全会一致で可決
発議第6号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書	内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣、防衛大臣、内閣府特命担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名 ^{*2}	全会一致で可決
発議第7号	副議長辞職願について	中島弘道副議長の副議長辞職	—	全会一致で許可
発選第2号	議長の選挙	有効投票15票のうち、宮崎雅薫議員15票で、宮崎雅薫議員が当選	—	—
発選第3号	議会運営委員会委員の補欠選任について	佐藤周議員を選任	議長	全会一致で選任
発選第4号	駿東伊豆消防組合議会議員の補欠選挙	指名推選により、青木敬博議員、篠原峰子議員、杉本一彦議員が当選	—	—
発選第5号	常任委員会委員の選任について	委員会委員任期満了に伴う改選 詳しくは12ページをご覧ください。	議長	全会一致で選任
発選第6号	議会運営委員会委員の選任について		議長	
発選第7号	副議長の選挙	指名推選により、大川勝弘議員が当選	—	—

※1 井戸清司議員、四宮和彦議員、杉本憲也議員、浅田良弘議員、田久保真紀議員、重岡秀子議員、佐藤龍彦議員
 ※2 各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

令和2年度 市長決算概要説明（要旨）

予算編成の背景

令和二年度当初予算は、全国的に景気は緩やかに回復しているが、人手不足や高齢化の影響などもあり、依然として厳しい状況が続いている中で予算規模を二七四億八〇〇万円とした。その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全国的に緊急事態宣言が出されるなど、状況が一変し、コロナ対応の補正予算に加えて、特別会計に対する繰入金の増額など二二回にわたる補正を行い、最終予算規模を三六九億六〇六八万六〇〇円とした。

一般会計決算概要

一般会計歳入決算額は対前年度比二九・四％の増、歳出決算額は対前年度比二八・七％の増となり、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、六億七二〇八万九〇〇円であった。歳入決算では、自主財源

令和2年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

○全会一致で認定 ○賛成多数で認定

一般会計決算

歳入	歳出	審議結果
360億3,542万円	351億6,831万円	○

特別会計決算

会計	歳入	歳出	審議結果
競輪事業	228億5,335万円	223億3,885万円	○
国民健康保険事業	87億 106万円	85億4,207万円	○
土地取得	2,603万円	2,595万円	○
霊園事業	3,344万円	3,323万円	○
介護保険事業	83億9,495万円	83億5,252万円	○
後期高齢者医療	21億8,331万円	21億5,961万円	○
合計	421億9,214万円	414億5,223万円	○

公営企業会計決算

区分	収入	支出	審議結果	
病院事業	収益的収支	4億1,112万円	5億9,022万円	○
	資本的収支	1億 120万円	1億5,964万円	
下水道事業	収益的収支	16億3,134万円	15億9,767万円	○
	資本的収支	6億9,769万円	11億9,162万円	
水道事業	収益的収支	16億2,852万円	14億8,057万円	○
	資本的収支	2億6,869万円	10億5,897万円	

で大きな比重を占める市税が前年度収入額を二・九％、また、ふるさと伊東応援寄附金の減少により寄附金が三〇・四％下回り、自主財源全体では、三・一％の減少となった。

依存財源では、特別定額給付金給付事業などによる、国庫支出金、消費税率の引上げに伴う地方消費税交付金が大幅に増加し、対前年度比で六六・一％増加した。歳出決算では、経常経費

において、物件費が四・九％、公債費が二・九％減少し、特別定額給付金給付事業などにより補助費が三二・六・九％、定年退職者の増などにより人件費が一五・〇％、障害者自立支援給付費の増加などにより扶助費が二・一％、それぞれ対前年度比で増加した。

投資的経費は、普通建設事業において、小中学校空調設備設置事業などが完了したこと、対前年度比で一八・八％減少した。また、新型コロナウイルス

感染症による市内経済の落ち込みを防ぐため、プレミアム付商品券事業や中小企業等応援給付金などを実施し、事業者支援、雇用の維持に努めた。

本市の財政状況

職員の人件費を含む全ての事務事業の見直しなど、一貫して継続してきた様々な改革への取組により、適正とされる規模の黒字を確保していることから、健全化判断比率などの財政指標も含め、その健全性は維持できていると判断している。

これまで「有言実行！みんなとともに」を基本理念に、未来を拓く施策の推進に邁進してきた。現在、新型コロナウイルス感染症という危機に直面しているが、市民の皆様の命を第一に、今後、ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染症が終息した後には、「新しい伊東スタイル」の構築に挑戦し、市民のため、本市の発展に努める。

決算大綱質疑



6会派が質疑しました

～決算概要説明及び各会計決算に係る議案について～

(文面の掲載量は、会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は12ページをご覧ください。)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。



正風クラブ
あおきよしひろ
(青木敬博議員)

固定資産税等に関し、新型コロナウイルス感染症の影響により徴収猶予となった件数及びこれに対する財政支援措置を伺う

市長

新型コロナウイルス感染症の影響により納税困難な方の申請を四二七件受け付けた

新型コロナウイルス感染症の影響による固定資産税・都市計画税に係る徴収猶予の特例については、国からの交付金等の補填はないものの、四二七件の申請を受け付け、四億一五三六万二二四六円、対調定額では五・九六%を猶予した。

経済変動対策資金貸付金利息補給金債務負担行為設定額に対する基金積立金の活用方法を伺う

市長

後年度負担額が最大約七億五〇〇万円と見込まれたことから、基金積立金を取り崩し、財源とする

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対し、静岡県が実施している経済変動対策資金貸付金事業に係る利子について、事業者の負担軽減を目的とし、一〇割の利子補給を一〇年間実施することとした。後年度負担額が最大約七億五〇〇万円と見込まれたため、経済変動対策資金貸付金利息補給基金を設置し、三億二〇〇万円を積み立て、利子補給期間の当初五年間分に対し、基金を取り崩し、財源としていく。

市長

プレミアム付商品券事業の内容及び事業効果を伺う

売上げが増加した等のアンケート結果から、市内経済活性化に大きな効果があったと考える

プレミアム付商品券事業は、地域消費を喚起し、市内経済の活性化を図るために、五〇〇円商品券を一二枚つづりで「いとうエールクーポン」として五〇〇〇円を用意し、一回目に一〇万二四二冊、二回目に五万二四二冊を販売した。

事業効果については、参加店舗の約六〇%が売上げが一〇%以上増加し、購入者の約七〇%が一〇%以上の追加消費をしたとのアンケート結果から、市内経済活性化に大きな効果があったものと考えている。

『その他の質疑』 二九項目

ことばの解説

決算大綱質疑

九月定例会において行われる決算概要説明及び決算に係る議案に対する質疑。質疑時間は、議員一人につき二〇分を基本とし、会派及び会派に所属していない議員により実施する。



公明党
としいやすこ
(鳥居康子議員)

前年度と比較し、個人市民税は増収となったが、法人市民税、固定資産税・都市計画税、入湯税に関しては減収となった要因を伺う

市長

減収部分については新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた

個人市民税は、令和元年当時の緩やかに回復していた景気動向を反映した課税であったことから、増収したものと考えられる。

一方で、法人市民税及び入湯税は新型コロナウイルス感染症の影響を直接的に受け、また、固定資産税・都市計画税については、地価が下落したこと、新規の設備投資が少なく償却資産の増加が抑えられたこと、さらには、コロナ禍におけ

る徴収猶予の特例の適用等により減収したものと考えられる。

介護保険事業について、コロナ禍の実績をどのように分析しているか伺う

市長

全体の介護給付費は増えていますが、サービスの利用傾向に変化が生じた

全体的な介護給付費は増加しているが、サービスの利用傾向として、コロナ禍においては、感染への懸念からか、事業所に通う通所系サービスや短期入所サービスの利用は減少傾向が見られ、代わって、訪問看護や訪問リハビリテーション等の居宅で提供される訪問系サービスの利用は増加した。

『その他の質疑』

六項目



清和会
すぎもとかずゆき
(杉本憲也議員)

成年後見申立件数の内訳及び今後の成年後見制度利用促進に向けた取組を伺う

市長

成年後見制度の利用者は年々増加しており、今後の制度利用増加に対応できるよう関係機関と連携し取り組んでいく

本市での成年後見申立件数は、令和二年の一年間で二九件となっており、申立理由は、認知症が二五件、その他が四件となっている。成年後見制度の利用者は年々増加しているが、認知症の高齢者数と比較すると少ない状況にある。

成年後見制度は高齢化の進行に伴い、今後、需要の増加が見込まれるため、制度の普及啓発、相談機能の強化、市民後見人の育成を

行うなど関係機関と連携して取組を進めていく。

一般会計歳入のその他雑入の内訳及び前年度と比較し増額となった要因を伺う

市長

令和二年度は、前市長からの退職手当金返納等により増となった

一般会計歳入決算におけるその他雑入の主な内訳としては、金属くず・アルミ缶等の売却代金、広域受託分保育所運営費等があり、令和二年度は、前市長からの退職手当金の返納及び、平成三〇年七月に発生した、庁舎東側玄関第三者破壊行為に対する災害共済金等により約九三〇〇万円の増となった。

『その他の質疑』

一四項目



自民・伊東新時代。
すぎもとかずゆき
(杉本一彦議員)

新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施状況及び今後の展望について伺う

市長

ワクチン接種会場の整備をし、希望する高齢者への接種をおおむね完了した

新型コロナウイルスワクチン接種の体制整備として、専用コールセンターを設置し、問合せへの質疑応答マニュアルを作成した。また、予防接種記録を管理しているシステムを改修するとともに、ワクチン接種会場の整備を行った。

ワクチン接種は、四月から医療従事者への優先接種、五月からは高齢者への接種を開始し、現在、希望する高齢者への接種をおおむね終了したところである。

九月一日からは、四〇歳

以上の方への接種を開始し、三九歳以下の方への接種は、国から供給されるワクチン量を確認し、早期に実施できるよう、医師会と調整し進めていく。

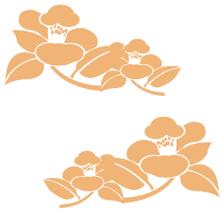
移住定住促進事業における、これまでの成果及び今後の展望について伺う

市長

移住者数は年々増加しており、今後、さらなる移住支援策の拡充を検討していく

移住定住促進事業の成果としては、令和二年度の相談件数が一三一件、移住者数は五二人であり、相談件数、移住者数ともに年々増加しているものの、今後、他市町での取組を参考に、さらなる移住支援策の拡充を検討していく。

『その他の質疑』 一四項目



伊東市総合防災ガイドブックの更新の経緯及び今後の活用について伺う



日本共産党
しげおかひでこ
(重岡秀子議員)

市長

新たに指定された危険箇所等を周知する必要性が生じたため更新し、防災意識の向上を図った

総合防災ガイドブックは、平成二八年三月に作成したが、市内全域の土砂災害警戒区域等の追加指定、伊東大川の洪水浸水想定区域の見直し等を行ったことを周知する必要が生じたため更新し、市内全戸への配付を行った。

今後は、自主防災会活動説明会や、各種団体からの依頼により防災講話を行う際に活用し、市民の防災意識向上に努めていく。

『その他の質疑』 五項目

下水道事業会計について、一般会計からの一〇億円以上もの繰入金の使途と今後の繰入額の推移を伺う



無党派 颯
たくぼまき
(田久保真紀議員)

市長

下水道施設の維持管理費等へ充当し、今後も一〇億円前後の繰入金を必要とする見込みである

繰入金の主な使途については、施設の維持管理費などの営業費用、企業債の支払利息などの営業外費用のほか施設の建設改良費や企業債の償還金などへ充当した。今後についても、これまでの設備投資に伴う企業債の償還や施設の維持管理経費などを繰入金に頼らざるを得ず、当面の間は一〇億円前後の繰入金が必要となる見込みである。

『その他の質疑』 四項目

本会議で行われた討論の概要

※登壇順に掲載しています。

市議第一〇号

《賛成》日本共産党

デジタル庁設置法やマイナンバー法改定で、個人情報提供先を内閣総理大臣とするが、デジタル庁の下個人情報を利用する事はプライバシー侵害、地方自治権限の自由度減少等の問題があり、国民自ら監視する法整備もすべきであるが、既に法律は成立しているため、本改正はやむを得ず問題点を付し賛成とする。

市議第一五号

《賛成》自民・伊東新時代。

コロナ対策中心の予算計上であり評価する。しかし、文化財管理センター隣接地の購入について異は唱えないうが、現在も市民のために活用されず塩漬けになっていく市有地が多く存在している。必要な土地を購入するのは良いが、必要のない土地については払下げ等を考えるべきである。市長には早急に判断いただきたい。

会派構成は12ページをご覧ください

市認第一〇号

《賛成》自民・伊東新時代。

「佐藤病院」が閉院されたことにより、市内に終末期医療を必要とする高齢者等が利用できる療養病床を所有する病院は存在しない。本市における介護保険事業は要介護認定者の増加等により、運営状況が厳しいところは察するが、介護医療院の需要は高いと考えることから、早急な施設設置を要望し、認定する。

市認第五号

《賛成》正風クラブ

財源に限りがある中、市内中小企業者に対し県内で最も有利な最長一〇年の全額利子補給をした事や、五億五〇〇万円以上の直接給付をちゅうちよなく行なった事、また、働く世代の生活の急変に対し、生活保護の前の施策でくい止めることで、少しでも社会復帰しやすい環境にした事などを踏まえ認定する。

《賛成》 自民・伊東新時代

本市の人口減少は深刻な問題であるが、この町を未来に引き継ぐために、この課題としっかりと向き合い、今、着手しなければいけない事を実行し成果を上げなければいけない。移住定住促進事業は、これまで以上に努力していただき、市民病院とも連携し子供を産み育てやすい環境づくりに力を注ぐ事をお願いし、認定する。

《賛成》 日本共産党

最終予算規模が当初予算を約九五億円も上回り、異例づくめで評価は難しい。しかし、コロナ禍において生活に困窮した市民に対する様々な支援策や、特に二回の補正予算による経済対策、他市より有利という利子補給事業等は評価できる。今後は、コロナ終息後に市内産業を活性化させるための施策の実施を要望し、認定する。

《賛成》 公明党

令和二年度の決算状況は、新型コロナウイルス感染症

の影響を受け、市税減収により歳入が落ち込み、当初計画されていた市民運動場人工芝生花事業も翌年に見送ったところである。今後の経済状況は楽観視できないものの、財政調整基金の積立てを行い、引き続き、市内経済を活性化させる事業が行われると考え、賛成する。

《賛成》 無党派 颯

歳入決算で示す自主財源は、市税の落ち込みで前年度比三・一%減となっており、依存財源では国庫支出金が前年度比一九五%の大幅増と、財政の健全化に悪影響を与えかねない。財政状況は、経常収支比率が臨時財政対策債等を除くと、九六・三%と高水準であり、危険水域に近づいていることを指摘し引締めを望む。

発議第三号

《反対》 正風クラブ

組織の長がルールを飛び越えた場合、内部統制制度は機能しない。確約書問題は同制度域外、市長の倫理

が問われていることから、政倫審で審議している。同制度は議員自らが学ぶべきことであり、その整備も重要であるが、現時点では伊東を元気にすること、コロナ対応と経済対策が最優先と考えることから反対する。

《賛成》 無党派 颯

確約書問題に市職員の関与があったとする報道に対し、行政側からは説明や釈明がなく、政治倫理審査会への審査は市長の求めに応じたものであり、議会のチェック機能の代わりを果たすものではない。そのため、特別委員会を設置し市民の代表たる立場からこの問題の精査を行うことは、議会の責務であると考え。

《反対》 公明党

特別委員会の設置は、確約書問題に関する再発防止のため、議会として調査・研究を行っていく目的であるが、署名に至っては、市長独自の判断であり、また、職員の間わりについては、副市

長より正しい判断のできる職員を育てていくとの発言もあり、議会として内部統制整備に関する調査研究は必要ないと判断し、反対する。

《賛成》 日本共産党

市長の確約書に係る行為は、メガソーラー建設の中止を求める市民の声や、議会の反対決議に背を向けるもので、その経緯や真意を市議会の監視機能を駆使し、検証すべきと考え。さらに、再発防止のため、市政の重要課題に対する市の内部統制の在り方を調査研究提言する必要があると考え、発議案に賛成する。

《賛成》 清和会

確約書問題を市長の附属機関であり、第三者性のない政倫審に委ねることは議会の責任放棄である。損害賠償リスク低減という市長の主張は、行政当局の認識と矛盾しており、正規の行政手続下では起こり得ない独立したあるため、行政から独立した議会により内部統制の検証と整備を主導すべきである。

《反対》 石島茂雄議員

市長からは、損害賠償リスクを最小限にしたいの思いつから、確約書に署名してしまい、市民には心配や疑念を抱かせ申し訳ないとの謝罪があった。今回は、市長自ら、再発防止のため、政治倫理審査会に調査等を要請した姿勢を評価する。今は、審査会の判断を待ち、コロナ禍の市民救済を最優先に対応するべきと考え、反対する。

寄附行為や挨拶状の禁止について

市内において、議員が次の行為を行うことは公職選挙法で禁止されています。ご理解とご協力をお願いいたします。

- 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候の挨拶状を出すこと
- 有料の挨拶広告を出すこと

■ 政党、その他の政治団体や親族に対するものを除き、寄附をすること

※ 寄附には、お歳暮やお年賀なども含まれます。



一 般 質 問



11議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。



さとしゅう 議員
(正風クラブ)

伊東市公共下水道事業経営戦略で計画されている、下水道使用料の改定の見込み及び時期について伺う

令和三年三月策定の伊東市公共下水道事業経営戦略では、令和五年度に使用料の改定が計画されているが、具体的な改定額の見込み及び時期を伺う。

市長

使用料の改定については、市内経済の状況等を分析し、総合的に判断したいと考え

る。伊東市公共下水道事業経営戦略は、この先一〇年間の下水道事業の財政状況を推計し、経営の健全化を図るための方向性を示したものである。使用料の改定については、できるだけ早い時期に行いたいところでは

あるが、市の財政状況や市内経済の状況を分析するとともに、「伊東市下水道使用料等に関する検討会」などからの意見を参考に、総合的に判断したいと考える。

『その他の質問』 八項目



のみやかずひこ 議員
(清和会)

伊東市情報公開条例第六条の運用方法について伺う

伊東市情報公開条例第六条について、その運用方法により不開示決定を恣意的に行うことが可能となることから、適用基準の厳格化が必要と考えるがいかがか。

市長

現状の運用基準に従った適正な決定を行い、恣意的との疑念が生じないよう適宜説明を行う

本市の情報公開条例については、手引を定め、その

中で運用基準を示している。第六条各号の適用についても、情報公開請求に対する決定を行う際、対象となった情報の担当課がその情報の状況、性質等を勘案し、運用基準を踏まえながら適正に決定しているが、当該決定となった理由について、恣意的な決定との疑念を生じないよう、適宜説明を行うなど、制度の透明性の確保に努めていく。

『その他の質問』 七項目



おおかわしひろ 議員
(自民・伊東新時代。)

新型コロナウイルスワクチン接種の六四歳以下の方への接種状況及び妊婦への対応について伺う

新型コロナウイルス感染症対策としてのワクチン接種に関し、六四歳以下の方への接種状況及び妊婦への対応について伺う。

市長

妊婦の方への優先接種予約を九月一三日から開始する

新型コロナウイルスワクチン接種率について、六四歳以下の二回目接種を終えた方は、九月六日現在、三五・九%であり、九月一日から四〇歳以上の方を対象に集団接種を健康福祉センターで実施している。

妊婦への接種は、妊娠中及びその配偶者等への優先接種予約を九月一三日から開始し、里帰り出産の方についても、同様に接種が受けられるよう進めていく。

『その他の質問』 七項目



すずきあやこ 議員
(正風クラブ)

水産業振興に向けた支援策及び今後の取組を伺う

昨今の漁獲量や魚価が下落傾向にある中、水産業振

興に向け、さらなる支援が
急務であると考えるが、現
状の支援策及び今後の取組
について伺う。

市長

民間団体等への支援や魚食
普及に向けた事業を行って
いる

水産業への支援状況につ
いては、沿岸漁業の資源を
維持確保するため、漁礁の
設置や種苗放流活動等への
補助、また、伊豆地域栽培
漁業推進協議会が取り組む
マダイ放流事業、キンメダ
イの食害対策事業に対して
も支援等を行い、さらに、
魚食普及に向け、さばき方
教室等の事業を行っている。
今後についても、関係機
関と連携する中で水産業が
安定的に営まれるよう継続
して支援を行っていく。

『その他の質問』 八項目



しのほらみねこ
篠原峰子議員
(公明党)

骨髄移植ドナー登録の推進
に向けた本市の取組につ
いて伺う

白血病などの疾病に有効
な治療法の一つである骨髄
移植を多くの患者が受けら
れるようにするため、骨髄
移植ドナー登録を推進する
必要があると考えるが、本
市の取組について伺う。

市長

最新の情報を提供し、問合
せ等があった際は、きめ細
かなサポートに努める

骨髄移植ドナー登録の推
進のため、日本骨髄バンク
の「ドナー登録のしおり」
や静岡県疾病対策課で実施
している「骨髄ドナー登録
説明員養成研修会」のチラ
シ等を窓口で配架しドナー
希望者への情報提供及び啓
発に努めている。

今後最新の情報を提供
するとともに、問合せ等が
あった際には、骨髄移植ド
ナー登録窓口につなげるな
ど、きめ細かなサポートに
努めていく。

『その他の質問』 八項目



さとうたつひこ
佐藤龍彦議員
(日本共産党)

子供の移動経路の危険箇所
への対応及び今後の課題に
ついて伺う

子供が安全に過ごせる環
境整備が必要であると考
えることから、子供の移動経
路に関し、安全確保のため
の点検により確認された危
険箇所への対応及び今後の
課題について伺う。

市長

市によって整備すべき五か
所は、今年度中に対応を完
了する予定である

移動経路の安全確保のた

めの点検は、例年、夏休み
に実施しており、令和元年
度からこれまでに六か所の
危険箇所が確認されている。
このうち、市によって整備
すべき五か所については、
今年度中に対応を完了する
予定である。

今後の課題としては、ド
ライバーや地域住民の方へ
の周知等により、子供の移
動経路について、広く情報
共有する必要があると考
えている。

『その他の質問』 四項目



すぎもとかずや
杉本憲也議員
(清和会)

免許外教科担任制度の運用
状況について伺う

免許外教科担任制度につ
いて、子供の学びの保障及
び教員の負担軽減の観点か
ら、本市の教育全般に及ぼ
す影響をどのように認識し
ているか伺うとともに、本

教育長

教員への負担を踏まえ、県
へ教員配置等の対応を働き
かけていく

本制度の適切な運用によ
り、一定程度の教育の質を
保つことが可能であると考
える一方で、専門外教科の
授業準備等、通常以上の負
担がかかる教員への支援は
必要であると考えている。

本制度の解消に向けて免
許外解消非常勤講師の任用
及び措置要件の緩和や、複
数免許を持つ教員の配置を
県に強く求めていく。

『その他の質問』 四項目



ながさわまさし
長 沢 正 議員
(公明党)

女性視点による災害対応を
進めるための本市の現状及
び今後の取組について伺う

災害対応力を強化するためには、平常時の備え等から、女性視点による災害対応を進める必要があると考えるが、本市の現状及び今後の取組について伺う。

市長

伊東市防災会議に出席した関係団体等に、女性の登用を依頼した

平常時の防災に関する議論の場である、伊東市防災会議においては委員四五人のうち、女性は三人と少数であることから、令和三年三月に、会議に出席した関係公共機関や公共団体等に対し、積極的な女性の登用をお願いしたところである。

また、避難所運営等を行う災害対策本部支部職員には六六人のうち二八人の女性職員を指名するとともに、各避難所への保健師の配置等、女性の避難者に寄り添える体制を構築している。

『その他の質問』 二項目



議員 久保真紀 (無党派 輓)

荻地区の資材置場造成事業の概要について伺う

荻地区で進められている、資材置場造成事業は、建設発生土による盛土を行うこととなっているが、事業の概要について伺う。

市長

事業実施に必要な法令の続きを完了し、建設発生土による盛土で、建設資材置場を造成する事業である

荻地区の資材置場造成事業概要は、市内の建設発生土一八万立方メートルを受け入れ、谷部を盛土して資材置場を造成し、完了後はトラック等の重機、仮設鋼材等の資材を置く事業として申請されており、既に、事業実施に当たり必要となる森林法や宅地造成等規制法等の関係法令の許可及び

伊東市土地利用事業等の適正化に関する指導要綱の承認の手続きは完了しているところである。

『その他の質問』 五項目



議員 重岡秀子 (日本共産党)

土地利用に関する住民説明の基準を定めるべきと考えられているかが

熱海市で発生した土石流災害を教訓に、土地利用に関して、周辺住民への説明に関する基準を定める必要があると考えるかが

市長

一定基準以上の事業については、利害関係者へ理解を得るよう努めることを規定している

伊東市土地利用事業等の適正化に関する指導要綱において、施工区域面積等が一定の基準を超える土地の区

画形質の変更等を行う事業であり、区域周辺に影響を及ぼすおそれのあるものについては、事業者の責務として、利害関係者へ説明等を行い、理解を得るよう努めることを規定している。五ヘクタール以上の規模の事業については、地元説明会を行い、地元の理解を得るよう努めることについても規定している。

『その他の質問』 六項目



議員 浅田良弘 (無党派 輓)

緊急事態宣言中の観光産業は低迷したと考えるが、今後の経済活性化対策について考えを伺う

夏季の繁忙期の緊急事態宣言により、本市の基幹産業である観光業には大きなダメージがあったと考えますが、今後の市内経済回復に向けた取組について考えを伺う。

市長

様々な事業者支援を実施してきたが、今後も、必要に応じた経済対策を検討し、市内経済の活性化を図る

緊急事態宣言の発令等により、夏季の観光客が減少し、各種事業者に大きな影響が出たと認識している。

これまでに、各種利子補給制度の拡充や中小企業等応援給付金の支給のほか、いとうエールクーポン事業等の様々な支援策を実施してきたところであるが、今後も、市内の経済状況を把握する中、事業者の下支えとなる対策を講じ市内経済の活性化を図っていきたい。

『その他の質問』 五項目

メールマガジン 配信のお知らせ

いとう市議会だより発刊のお知らせを、伊東市メールマガジン（メールマガイとう）で配信しています。ぜひご登録ください。



常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～
ホームページにおいて、各委員会
要点記録を公開しております。



総務委員会

問 令和三年度伊東市一般会計補正予算第二号における、街頭防犯カメラ設置事業補助金について、一分の九という高い補助率に設定した理由を伺う。

答 一五の行政区及び五〇世帯以上の分譲地自治会へ補助を行う本事業は、誰もが安全・安心に暮らすことのできるまちを目指す上での重点施策と考えており、県内において同様の補助制度を実施している市町の中でも、最高の補助率に設定した。



犯罪抑止力が期待される防犯カメラ

観光建設委員会

問 令和二年度伊東市一般会計歳入歳出決算のうち、ロケツーリズム推進事業の取組及び成果を伺う。

答 本市で行われるロケの受け入れ窓口を一本化し、受け入れから支援に至るまで円滑に進められるよう「伊東ロケーションサービス」を立ち上げたほか、ロケ情報誌や検索サイトを活用した制作者への情報発信や、受入れに関するセミナーを開催するなどの取組により、令和二年度は五五件を受け入れた。



伊東市のロケ地巡り企画が掲載されているロケ情報誌LJ107号（2021年10月号）

福祉文教委員会

問 今回の条例改正による、人工芝生化後の市民運動場使用料の料金設定の根拠を伺う。

答 今回設定した料金体系については、近隣市町や、同様な人工芝施設である、かどの球場の料金を参考とする中で設定したものである。なお、これまで運動場を利用されてきた団体等に対しては、整備による利用環境の向上に伴うものとして説明させていただき、ご理解をいただいたところである。



人工芝生化に向け、順調に工事が進む市民運動場

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会



1 令和三年八月二三日 委員会開催

令和三年八月八日、本市に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用されたことに伴い、議会から当局に対して対応状況の報告を求めました。

危機管理部、観光経済部、教育部から報告を受け、質疑応答を行いました。

質疑においては、時短営業に関する問合せへの対応や夏季休暇後の学校での感染拡大防止への対応等について確認がされました。

本委員会の今後の開催については、特別委員会が設置されている状況を維持し、状況の変化や案件が生じた際はすぐに招集できる状態としておくこととしました。

2 令和三年八月三十一日 中間報告

令和三年九月定例会初日において、本特別委員会の中間報告をし、異議なく了承されました。

12月定例会の予定

11月30日(火) 開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

閉会中の議会活動

令和3年6月定例会閉会から
令和3年9月定例会開会まで

- 6月30日(水) 全員協議会
- 7月28日(水) 常任観光建設委員会協議会
- 7月29日(木) 議会報編集委員会
- 8月 4日(水) 常任福祉文教委員会協議会
- 8月13日(金) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 8月24日(火) 常任観光建設委員会協議会
- 8月25日(水) 議会運営委員会

正副議長の選挙

八月三十一日の九月定例会初日において、前議長の逝去に伴う議長選挙で宮崎雅薫議員、九月三日の定例会最終日において、辞職願提出に伴う副議長選挙で大川勝弘議員を選出しました。



第76代議長 宮崎雅薫 議員
第72代副議長 大川勝弘 議員

議会内の異動

八月三十一日
会派代表変更

- 正風クラブ
- (新) 青木敬博 議員
- (旧) 宮崎雅薫 議員

※宮崎雅薫議長は、総務委員会に所属していますが、申合せにより、委員活動を辞退しています。
〔会派略名〕(正)正風クラブ (公)公明党 (清)清和会 (自)自民・伊東新時代。
(共)日本共産党 (無)無党派 嶋 (一)会派に所属していない

常任総務委員会 ～企画部・危機管理部・総務部・市民部の所管に属する事項、及び他の委員会の所管に属さない事項～

委員長 杉本一彦(自)	副委員長 篠原峰子(公)	委員 青木敬博(正)	委員 井戸清司(清)	委員 重岡秀子(共)	委員 石島茂雄(一)
----------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	---------------

常任観光建設委員会 ～観光経済部・農業委員会・建設部・上下水道部の所管に属する事項～

委員長 鳥居康子(公)	副委員長 佐藤 周(正)	委員 仲田佳正(正)	委員 四宮和彦(清)	委員 大川勝弘(自)	委員 浅田良弘(嶋)
----------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	---------------

常任福祉文教委員会 ～健康福祉部・教育委員会の所管に属する事項～

委員長 中島弘道(自)	副委員長 杉本憲也(清)	委員 鈴木絢子(正)	委員 長沢 正(公)	委員 佐藤龍彦(共)	委員 田久保真紀(嶋)
----------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	----------------

議会運営委員会 ～議会の会期及び議案審議予定など議会運営に関すること～

委員長 青木敬博(正)	副委員長 四宮和彦(清)	委員 佐藤 周(正)	委員 長沢 正(公)	委員 中島弘道(自)	委員 浅田良弘(嶋)
----------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	---------------

市議会内の会派構成
(令和三年九月三〇日現在)

編集後記

- 正風クラブ
 - 仲田 佳正 議員
 - 鈴木 絢子 議員
 - 宮崎 雅薫 議員
 - ◎青木 敬博 議員
 - 佐藤 周 議員
- 公明党
 - 鳥居 康子 議員
 - 篠原 峰子 議員
 - ◎長沢 正 議員
- 清和会
 - 四宮 和彦 議員
 - 杉本 憲也 議員
 - ◎井戸 清司 議員
- 自民・伊東新時代。
 - 大川 勝弘 議員
 - 中島 弘道 議員
 - ◎杉本 一彦 議員
- 日本共産党
 - 佐藤 龍彦 議員
 - ◎重岡 秀子 議員
- 無党派 嶋
 - 田久保真紀 議員
- ◎浅田 良弘 議員
- 会派に所属していない
 - 石島 茂雄 議員

猪戸。小さい頃から慣れ親しんでいた地名でしたが、地名の由来を知ったのは大きくなってからです。かるたを眺め、「傷を負った猪が湯浴びをしていた場所はどこだろうか？」と探したくなり、帰省や旅行の自粛が求められている、こんな時だからこそ地域の中でいろいろな発見をして楽しみを見つけていることも過ごし方の一つではないでしょうか。身近で当たり前だったものに目を向けてみませんか。きっと楽しみが増えることと思います。
(鈴木)

議会報編集委員会
委員長 佐藤 龍彦
副委員長 杉本 憲也
委員 鈴木 絢子
委員 篠原 峰子
委員 中島 弘道
委員 田久保真紀

市議会に関するご意見
ご質問は議会事務局へ